



「表参道ヒルズ」の設計は安藤忠雄氏が担当。上部部に位置する「ゼルコバテラス」は全戸が表参道に面した南向きで、開口部からケヤキ並木を一望できる。

photo_Satoshi Nagare
text_Seishi Isozaki
edit_RCKT/Rocket Company*

28 表参道ヒルズゼルコバテラス

MORI LIVINGへの招待

活気溢れる街の気配を感じながら
メリハリのある暮らしを送る

「大阪出身の私にとって、表参道は東京を象徴する存在。大好きだったドラマの影響もありますが、上京した時もまず原宿から表参道の景色を眺めました。そう話すのは、『表参道ヒルズゼルコバテラス』のメゾネットに住む陵本望媛さん。長らく神宮前にオフィスを構える陵本さんが、満を持して表参道に住むことになったのは、昨年9月のこと。写真を見て「なんて素敵なんだろう」と感動し、入居を熱望していたメゾネットに空きが出るまで、10ヶ月待ったと振り返る。「ワンフロアタイプの部屋も案内していただいたんですが、このメゾネットが頭から離れませんでした。ショップエリアの、回遊性のある



赤く塗ったモロッコ製のトレーテーブルが目を引く2階の寝室。

つくりも素晴らしいと思っていましたが、やはり安藤（忠雄）さんのつくるものは違いますね。

一度は諦め、別の物件への入居も検討したそうだが、「話が決まりましたその時、空気が出たとの連絡があったんです。契約書を交わす直前というタイミングでしたが、迷わずこちらに決めました」。

初めてのメゾネットに住まう

陵本さんが入居したのは、建物の5・6階にまたがる1LDKのメゾネット。これまで低層型のマンションに住んだことがなく、メゾネットに住むのも初めてだったが、住み心地は上々で「気に入っています」と笑顔で話す。電球の交換が必要な場合など、何かあった時には、電話1本で設備や警備のスタッフが飛んできてくれるので、安心して暮らせるという。

じつは「引っ越しマニア」で、ほぼ2年おきに転居を繰り返してきたという陵本さん。その都度インテリアをガラリと変え、気分転換を図ってきた。今回はモロッコで買い付けたランプシェードやレリーフが施された金属製のトレーテーブル、アフリカのバスケットなどでエキゾチックなムードをプラス。「初めてこの部屋の写真を見た時から、天井高と壁の広さを生かして何が出来るかを考え、事

寝室の照明は鳥カゴがモチーフ（左）。リビングの飾り棚（右）



前に家具の配置はもちろん、何をどこにしまうかまで決めておいたので、引っ越しは1日で終了しました。その日のうちにホームパーティができたというから、驚きだ。「1階をパブリック、2階をプライベートと分けることで、気持ちの切り替えがしやすくなりました。忘れ物をして、しょっちゅう行ったり来たりするので、出掛ける際はまあ、忙しいのですが、ダイエットにはいいかなと、思うことにしています」。

活気ある街で英気を養う

今までは静かな住宅地に住んでいたが、賑やかで活気に満ちたこの街に流れる気のようなものが、仕事を効率よくはかどらせる。その分、余暇をゆったりと過ごせるはずが、「最近何かと忙しく、家で過ごす時間が少ないのが残念」だと打ち明ける。「日当たりがいいので、昼間ここでゆっくり過ごせたら最高だと思うのですが、なかなかそうはいきません」と、苦笑する。それでも時には友人を招いて食事やワインを楽しむという陵本さん。天気がいい日はベランダも開放するそうだが、ご近所に気兼ねなく、お喋りに花を咲かせることができるのも「この街に住む利点」だと感じているようだ。



Omotesando Hills
Zelkova Terrace
表参道ヒルズゼルコバテラス

所在地：東京都渋谷区神宮前4-12-5,20 / アクセス：表参道駅 徒歩約2分 [東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線]、明治神宮前駅 徒歩約3分 [東京メトロ千代田線・副都心線]、原宿駅 徒歩約7分 [JR山手線] / サービス：居住者限定ベネフィット「MORI LIVING Smiles」利用可 / 備考：駐車場（空き状況により利用可）、ペット可（飼育できるペットに制限あり）

お問い合わせ：森ビル株式会社 住宅事業部
電話：0120-52-4032 www.moriliving.com

階段からリビングを見下ろす。ホームパーティでは、「雨が吹かぬむことがない」というベランダもリビングの一部として活用する。



天井高を生かし、背の高い観葉植物と大ぶりなランプシェードを設置。一生物だというテーブルとチェアはジャン・ブルーヴェの作。